

同志社大学に対する社会教育に係る要望について

テーマ	具体例	内容 (各委員からの提案)
1 学生による社会課題解決	地域の社会課題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が地域住民と触れ合い、課題を設定し、対策を生み出し実践することで、ボランティアでは得られない社会活動マインドを醸成する。 ・少子高齢化、地域力低下の解決に向けて何かできないかを考えもらい、地域に力を貸してもらう。 ・持続可能な地域社会の構築に向けた政策形成を大学の授業、課外活動で実践する。
	マッチング、ガイドライン作成	<ul style="list-style-type: none"> ・何をすれば交流できるのか分からず市民や区・自治会、大学や学生のマッチングを行う。マッチングのためのガイドラインを作成する。
	子どもを通じた交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが学校内で学生と交流し、保護者に話すことで、保護者自身は大学とつながらなくても子どもと話すきっかけになる。 ・キャンパスツアーで子ども達に具体的な将来の姿を想像させることで、学ぶ意欲を向上させる。
2 学生による市民への学びの場の提供	出前授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の特技等を生かした出前講座を実施する。 ・留学生による英語講座を実施する。
	生涯学習への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が放課後子ども教室へ協力を行う。
3 学生の社会教育活動への大学や市の協力	社会活動の仲介組織を設置	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が地域活動に協力できるよう割り当てる組織を大学に設置する。 ・大学に市や地域イベント、ボランティア募集を告知するスペースの設置する。
	地域活動に参加しやすくなる枠組みの創設	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献に対して単位認定や学長表彰等インセンティブを付与する。 ・地域活動への参加者に対し、交通費を支給する補助金の創設する。
4 大学による市民向け講座の開催	既存講座、学生向け特別講座の市民への公開を制度化	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が大学の講座を受講できることで、市民の学習意欲の向上につなげる。 ・学生と市民が肩を並べ受講することで世代間交流を図るとともに、学生に対しても刺激とする。
	生涯学習を推進する講座開設	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の親子向けに親子別々の講座を同時開催する。 ・先生、学生、市職員と共に市民が市内の遺跡等をめぐりすることで歴史を通じた交流を深める。